

令和7年第11回京田辺市教育委員会定例会

教育行政報告

R07/10/11 ~ R07/11/21

1. 教育行政報告

10月

12日 (日)	第40回京田辺市民詩吟詩舞発表会	中央公民館
14日 (火)	京都府公立学校長会議 令和7年度大住隼人舞奉納	府総合教育センター 月読神社
17日 (金)	令和7年度第2回京都府都市教育長協議会	京丹後市役所
18日 (土)	綴喜ライオンズクラブCN60周年記念式典	リーガロイヤルホテル 京都
19日 (日)	第41回京田辺市マラソン大会 きららん音楽祭・アンサンブル体験会	田辺木津川運動公園 中央公民館
21日 (火)	決算特別委員会総括審査 指導主事計画訪問	委員会室 河原こども園
24日 (金)	ワールドマスタースゲームズ2021関西京田辺市 実行委員会令和7年度第1回総会	保健センター
25日 (土)	きららん音楽祭・アンサンブル体験会	中央公民館
26日 (日)	田辺区レクリエーション大会	田辺区公民館他
27日 (月)	京田辺市自治功労者表彰式 市議会本会議(採決等)	議場 議場
28日 (火)	京田辺市民まつり実行委員会第10回総会	全員協議会室
29日 (水)	経営会議 指導主事計画訪問(藤井教育長職務代理者) 令和7年度近畿市町村教育委員会研修大会	403会議室 三山木幼稚園 かしはら万葉ホール・ オンライン開催
30日 (木)	令和7年度近畿都市教育長協議会研究協議会	大津市
31日 (金)	精華町町制施行70周年記念式典	けいはんなプラザ

11月

2日 (日)	令和7年度京田辺市教育委員会表彰式 京田辺市民まつり2025(たなフェス)	田辺中学校 京田辺市役所周辺
4日 (火)	三山木幼稚園創立50周年記念式典 令和7年度第5回京田辺市学校教育審議会	三山木幼稚園 305会議室
5日 (水)	第44回京田辺市小学校児童陸上運動交歓記録会	山城総合運動公園
7日 (金)	指導主事計画訪問(伊東委員) 聖愛幼稚園勤労感謝訪問 (楡田教育部長対応)	田辺東小学校 市役所正面玄関前

10日 (月)	指導主事計画訪問 (藤井教育長職務代理者) 令和7年度第2回山城教科用図書採択地区協議会 令和7年度第2回山城地方教育長会議 摂南大学協定締結式	大住中学校 山城教育局 山城教育局 特別応接室
11日 (火)	学校教育審議会答申書手交式	教育長室
13日 (木)	全国都市教育長協議会令和7年度第4回理事会	東京都港区
14日 (金)	令和7年度京田辺市戦没者追悼式 市立小・中学校長会議	中央公民館 中央公民館
16日 (日)	生涯学習セミナー 第3回きららん音楽祭 (片山教育指導監出席)	社会福祉センター 中央公民館
17日 (月)	令和7年度京都府内市町(組合)教育委員会研修会	京都テルサ
18日 (火)	京田辺市平和都市推進協議会役員会	301・302会議室
20日 (木)	第29回京田辺市タナベースポール大会 令和7年度共生を考える集い 部落解放・人権政策確立に関する意見交換会	常磐苑 社会福祉センター 精華町役場
21日 (金)	経営会議 人権教育・啓発推進本部会議 令和7年度京都府社会教育研究大会 令和7年第11回京田辺市教育委員会定例会 令和7年度大御堂観音寺ライトアップ(11月21日～11月23日)	305会議室 305会議室 中央公民館 305会議室 大御堂観音寺

2. 議会報告 別紙

議会報告

令和7年第3回京田辺市議会定例会

1. 令和7年10月 1日開催 決算特別委員会 P. 1 ~ P. 15
2. 令和7年10月21日開催 決算特別委員会総括審査 P. 16 ~ P. 18

(決算特別) 委員会審議状況報告書

令和7年10月1日(水)開催分

部局等名(教育部)

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
榎本委員	中学校給食について、1年間運用してどのような成果があったか。	学校給食課長	令和6年度から中学校給食を開始し、給食センターで調理を行い各学校に提供しているが、大きなトラブルもなく、安全安心な給食提供に努めてきた。 中学校の生徒にもアンケートをとったが、肯定的な意見をいただいているほか、保護者からも全体の96%から「中学校給食がはじまって良かった」という意見をいただいている。
河本委員	学校教育審議会について、具体的な内容や答申のスケジュールを教えてください。	教育総務室担当課長	令和7年1月に学校教育審議会に新しい時代の学びを支える学習について諮問を行い、2月に先進的な学習環境の整備を实践された京都教育大学附属桃山小学校で視察を行った。 5月に児童生徒と教職員を対象としたアンケート調査や、教職員によるワークショップを行い、これらの内容を踏まえて7月の審議会においては、学校施設のあり方について討議を行っていただいた。11月以降に答申をまとめていただく予定である。 審議会から答申をいただいた後、教育委員会で具体的な整備方針を整理し、新しい学校づくりプランを示した上で、対策を進めたいと考えている。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	培良中学校特色化として、ALTが配置されているが、その効果に対する認識を教えてください。	こども・学校サポート室総括指導主事	1年・2年生の授業では、「スピーチやプレゼンテーションなど、英語を活用する活動が行われたか」という項目が府平均と比べて13%高い結果となっている。専任のALTの配置によってコミュニケーション能力が向上したと認識している。
〃	英検に対する補助を行っていると聞いたが、その成果はどうか。	〃	3年生は9月27日に4級を受検し、受検者22名のうち、13人が合格した。2年生は9月17日に4級を受検し、受検者40人のうち31人が合格した。 英語学習の意欲と、補助制度の効果を表す一つの指標だと考えている。
〃	就学支援相談委員会の対象となる児童が増加しているのではないかと考えるが、対象児童数はどう推移しているのか。本市の特徴的な取組はあるか。		令和3年度は117人、令和4年度は108人、令和5年度は145人、令和6年度は135人、令和7年度は142人となっている。 特徴的な取組としては、就学相談スタートガイドを作成し、公立校、幼稚園、こども園、保育所、4歳児の保護者にも配布している。 また、委員研修により委員の資質向上を図っている。また、共生を考える集いで一般市民を含め、障がいに対する正しい理解と認識を深める取組を進めている。
〃	現場の先生の声は聞いているのか。	〃	現場では保護者との連携を密にして、相談に乗る形をとっている。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	教育支援センターと、田辺中学校と三山木小学校で取り組んだ校内教育支援センターの成果はどうか。	〃	<p>教育支援センターの成果としては、3点ある。</p> <p>令和6年度に個別の支援計画を作成し、区切りを付けてそれぞれの時間に何をするかわかりやすいように毎月のスケジュール作成をしたり、さくら連絡網での家庭への配信、色々な活動体験や出前事業を実施し、子ども達の意欲を上げている。</p> <p>2点目としては、支援員に対し研修を実施し、子ども達への理解をより深めて適切な学習支援となっている。</p> <p>最後に発達検査を実施しており、令和6年度については13件実施し、子どもたちの特性の理解を図ることで、個々に応じたよりきめ細かな支援に繋がっていると考えている。</p> <p>校内教育支援センターの成果として、不登校の数が、令和5年度との比較で、小学校では30%、中学校では40%の減少となっている。子どもたちにとって、校内教育支援センターが居場所となり、不登校児童生徒の発生を確実に抑制している成果が見られる。</p> <p>三山木小学校では令和5年度は1.27%、令和6年度は0.84%、田辺中学校については、令和5年度は4.36%、令和6年度は2.68%と減少している。</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	教育支援センターの設置後、発達検査が受けられないという声が減ったと感じているが、実際はどうか。	〃	発達検査について、令和7年度は80件の枠を取って実施している。この検査において、子どもたちの特性を理解することによって、保護者も安心した部分がでていると思う。
〃	学校施設包括管理業務のこれまでの成果はどうか。	学校教育課長	大きく3点あると考えている。 まず、専門業者による巡回点検を実施したことにより、施設の安全性が向上したと考えている。 次に、修繕業務が迅速化したことである。以前は修繕を要することが起きたとき、学校教育課に連絡があって担当職員が現場を見に行き、業者に見積りをして契約事務をするという複数のステップを踏まなければならなかったが、今は委託業者がその場で修繕したり、直接市内業者に依頼し、速やかに修繕できていると考えている。 最後に、サービス向上として、トイレの清掃は今まで3年に1回であったが、令和6年度から毎年専門業者によるトイレ清掃を行うことができおり、この点でも導入の意義があったと認識している。
〃	幼稚園、こども園、保育所にも包括管理を広げたらよいと思うがどうか。	〃	包括管理業務はメリットが非常に大きいと考えている。現在、教育委員会が進める小・中学校、幼稚園、こども園を対象とした長寿命化計画の策定作業の中で、幼稚園への拡大については検討していきたいと考えている。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
河田委員	水泳授業の民間委託について、中止になったケースはあるのか。	〃	学級閉鎖になって、その日に行けなかったことはあったが、水泳授業自体が中止になったことはない。
〃	児童、教師、保護者の声は聞いたか。	〃	児童からは、水泳授業が楽しいという声を聞いている。教師からは、プール施設の水質管理等の負担がなくなったこと、専門のインストラクターが指導するので、先生は評価や安全管理に集中できるようになったという声を聞いている。保護者からは、子どもが水泳授業を楽しみにしている、スケジュールどおり実施されるので、準備がしやすくなったという声もある。
〃	小中学校の空調設備整備事業について、現在の進捗はどうか。中学3年生は空調を使わずに卒業する可能性があるのか、卒業式くらいはエアコンが入った体育館で行っていただきたいと考えるがどうか。	〃	現在の進捗としては、6月議会で工事の契約の議決をいただき、夏から外回りの工事等を行っている。今日くらいから順次体育館の工事に入ることになっており、年度内には工事を完了する見込みである。委員のご指摘を踏まえ、卒業式には試運転等ができるようにしたいと考えている。
〃	教室の空調は何年前に整備されたのか。今後の展望はどうか。また、耐用年数は。	〃	小中学校の普通教室、特別教室には空調が整備されている。中学校は平成24年から平成25年に設置された。小学校は、平成26年に、当時増築工事中であった三山木小学校を除く全校に設置され、その後三山木小学校にも設置されている。10年以上経過しており水漏れや冷媒ガス漏れが

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			発生しているので、適宜修繕している。税務上の耐用年数は15年となっており、実際にはもう少し使えるとは思いますが、計画的に更新が必要であるため、長寿命化計画の中で検討を進めていきたい。
片岡副委員長	小中学校の集団検診について、受診できなかった児童生徒にどのようなフォローを行っているのか。	〃	例えば内科であれば複数の日程を設けているので、他の日程で受診できるよう調整したり、2学期以降に医師に来ていただいたり、場合によってはタクシーで医院に連れて行ったりして、受診機会を講じるようにしている。
〃	高齢者の居場所づくりの取組として、健康福祉部のほか、教育委員会でも似たような趣旨の補助金があると聞いているが、一緒にして取り組むのはどうか。	社会教育課長	令和6年度までは、子ども居場所づくり事業として、子どもを対象とした居場所づくりを行った区・自治会に補助金を出していた。 今年度からは事業の見直しを行い、地域の居場所づくり事業補助金とした。全ての年齢の方を対象に、幅広い活動に対して補助金を出すという事業で、その中で高齢者の集う事業への補助金も想定しており、元々高齢者支援課で行っている高齢者の居場所づくり事業との切り分けなど、協議をしながらこの補助金を活用していただきたいと考えている。
榎本委員	小中学校における生理用品の支給件数について、この数字はどこから出ているのか。	こども・学校サポート室総括指導主事	各学校より聞き取りで確認している。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	保健室で受付した人数ということか。	〃	養護教諭から聞き取った人数である。
	女子生徒が安心して教育を受けるためには、トイレに生理用品の設置をして、自由に必要な時に使える状況を作ることが非常に重要だと考えている。実験的に1回置いてみて、どういう反応があるのか検証するなど、生理用品の支給について拡張してもよいと思うが、教育長の意見を伺いたい。	〃	児童生徒の様子や、家庭の状況を把握するという教育相談の観点を重視していることから、保健室で養護教諭を通して提供としている。今後も生理用品を必要とする児童生徒がためらうことなく安心して申出できる環境作りに努めながら提供していきたい。
		教育長	令和3年度に養護教諭の部会と教育委員会で検討を行った。そのときはコロナ禍で生理の貧困ということが大きな問題となっていたので、家庭的に厳しい家庭の様子を聞き取りたいという考えから、現在の形を維持している。 ただ、委員ご指摘のとおり、女性として人権を尊重していくという観点が全国的に広まっていることも事実であるため、試行的に実施するなどを含め、1から考え直す時期であろうと考えている。教育委員会で適切な対応に努めたい。
〃	情報教育推進委託料の内訳や事業内容について説明してほしい。	学校教育課長	システムの保守管理や校務支援システムの保守や随時更新、タブレット端末の保守、年度更新の対応などが計上されている。
〃	保守料金というのは、全校の保守料金か。	〃	お見込みのとおり。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	金額の変動はあるのか。更新内容について報告等ももらっているのか。	〃	時期が来たら当然金額的な見直しは入ってくる。また、毎月報告をもらっている。
〃	小中学生が利用しているタブレット端末の更新について、見解を聞かせてほしい。単に処分するのではなく、有効活用が必要ではないか。	〃	既存機の取扱いは、委員のご指摘も踏まえて、庁内での有効活用を検討した上で、処分についてもあわせて考えていきたいと考えている。
〃	外国青年招致事業費はALTの費用か。	〃	お見込みのとおり。
〃	何名任用しているのか。学校でどれくらい指導しているのか。	こども・学校サポート室総括指導主事	5名配置しており、4名はJET、1名は民間である。
〃	勤務形態はフルタイムなのか、パートタイムなのか。	学校教育課長	派遣職員は培良中学校特色化の関係で、培良中学校で日々勤務している。 残り4人は小学校9校と中学校2校で担当をもって順次回ってもらっている。 この事業費はALT5人のうち4人の費用で、残る1人は派遣委託料である。学校の時間にフルでおられるのが基本である。
〃	体育館空調設備事業について、予算委員会の際に説明があったとは思いますが、今後こうした大きい事業を見据えたものについては、計画の段階でも常任委員会の協議会でよいので、説明や報告の場所を作って欲しい。	〃	大きな事業であるが故に当初予算に計上し、予算委員会の審議を諮ったところであるが、委員がおっしゃるとおり大きな事業だからこそ計画段階からしっかり報告するという考えもある。非常に貴重なご指摘だと思うので、今後の対応等については検討していきたい。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
早川委員	学校施設長寿命化改良工事について計画の改定に向けて検討を行ったということであるが、検討の概要を説明してほしい。	〃	学校施設長寿命化計画は令和3年に策定をし、5年が経過した。現在来年度からの計画に向けた改定作業を進めているところである。 田辺小学校の長寿命化事業や、薪小学校の体育館の長寿命化事業等を実施してきたので、これまでの成果を取りまとめるとともに、今後、特にこの10年間の長寿命化対策等をどうしていくかを、庁内検討委員会を設置し、検討しているところである。
〃	図書館管理運営事業について、図書館システムの更新を行ったとあるが、どういうシステムの更新を行ったのか。	社会教育課担当課長	令和7年2月から新しいシステムになった。大きくはOSの更新である。機材とOSを変更し、OPACの検索機の横にプリンタを備えることにより、利便性を図っている。 貸出しや返却を一元的に管理しているシステムの更新である。
〃	検索の端末や予約のシステムは変わっていないように思うがどうか。	〃	更新の度に手直しを行っている。 最近では書影を画面で見てもらえるようにし、利用者にわかりやすいシステムとなるよう見直しを行った。
〃	今後の図書館システムについて、利便性の向上を図るような方向はあるのか。	〃	図書館サービスアクションプランとして、今後の図書館のあり方や方向性について検討を進めている。 次回更新の際には、ICタグを入れたり、利用者の利便性が高くなるような形で更新を考えていき

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			たい。
河本委員	図書館サービスアクションプランについて、中身の検討はどう進めているのか。	〃	図書館協議会で協議を行っている。コロナの影響で全国的にみても利用者・貸出し数が減少しており、少し戻ってきてはいるが、本市においても同様であるため、今後は図書館の資料を目的とする人だけでなく、すべての市民が利用したくなる図書館を目指していきたいと考えている。
〃	勉強や飲食を許可しているところもあるが、そういったことも視野に入れて全ての市民が集いやすいという考えなのか。現状のような静かで、勉強はできないというもので検討をしているのか。	〃	最近では図書館でも静かな場所と、子連れがいて音がでるような場所があったり、図書館で借りた本を持って行けるカフェなどのくつろげるスペースを設けたりしている。 貸出冊数が減少傾向にあることや、お勤めされている方が土日に来るということがあるので、そういった滞在できるスペース等のゾーニングを設けることができるよう、複合型について検討を進めている状況である。
〃	令和6年度の移動図書館の利用状況は。	〃	市内22箇所、洛南寮、10箇所の留守家庭児童会に巡回している。令和6年度の貸出しとしては、3,633人、43,101冊の利用をいただいている。地域に根付いたサービスなので、大切な事業であると考えている。
〃	移動図書館の車両の更新について、どのように考えているのか。	〃	移動図書館車は22年ほど経過している。他市の状況を調査したところ、一般財団法人自治総合セ

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			ンターのコミュニティ助成を活用しているところが多いので、本市においても助成金の活用を考えている。
〃	生涯学習推進協力委員制度の登録者数と活用状況は。	社会教育課長	令和6年度の登録者数は3名である。 普段から色々な活動をされており、学校と地域の共同活動であったり、地域活性化に情報提供をしてきた。地域の活動を繋いでいただくコーディネーターとして、地域の活動を活性化するための協力員という形である。
〃	分館公民館の改修費について、令和6年度の申請件数と主な内容等を教えてほしい。	〃	件数は11件、大きな修繕はあまりなかったが、主に設備の改修やエアコンの更新といった内容である。
〃	中央公民館講座等開設事業について、最も盛況だった講座とその内容は何か。	〃	脳トレ健康麻雀講座が最も人気があった講座である。定員24名であったが、82名の応募があり、非常に好評であったと考えている。
〃	留守家庭児童会で待機児童が発生しているという説明があったが、現在の状況と今後の見通しはどうか。	〃	9月の状況としては、待機児童が23人となっている。主な要因としては、支援員の不足と専用施設の不足により新たなクラスが開設できないというものである。 令和8年度から4施設の民間委託を行い、安定的に運営するとともに、残る3施設に人員を再配分する形で支援員の確保に努めていきたい。 専用施設の建設にあたっては、順次順位を付けながら早急に整備を進めたいと考えている。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	支援が必要な児童について、学校や保護者との連携は取れているか。	〃	現場を見て必要な加配を付けたり、何か問題が生じた場合は、社会教育課に連絡をいただき、相談をしている。 学校での様子はどうかということも、できる限り学校と連携できれば対応できると考えてるので、そのように進めていければよいと考えている。
〃	地域や福祉との連携について、どう考えているか。	教育部副部長	留守家庭児童会に限らず、通常の学校生活や私生活においても同じことだと思う。保護者には情報を十分に持っていない方もおり、行政的な支援や民間のサービスの周知ということにもかかわってくると思うので、そのあたりの連携については課題であると認識している。 連携は十分に図っているが、そこをどう広げて保護者に情報が伝わるかというところは、検討すべきと認識している。
増富委員	就学援助について、学校によって差があると思うがその状況を踏まえてどう感じているか。 眼鏡の購入補助が必要ではないか。	学校教育課長	就学援助について、小学校は13%で、令和2年度は14.7%であるため、減少傾向である。中学校についても、令和2年度は18%を超えており、現状は16.8%である。 眼鏡については、一般生活でも使用するものであるため、就学援助にはなじまないと考えている。
河田委員	小中学校の包括管理委託料には、外部からの侵入を防ぐ機械に係る整備も含まれているのか。	〃	機械警備の費用が含まれており、金額としては約1,000万円である。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
〃	防犯カメラはどこに設置しているのか。	〃	校門、職員玄関、体育館玄関に設置している。
〃	学校内でのいじめや暴力が問題となっているのを受け、全国的に学校内に防犯カメラを設置すべきという意見があるが、教育委員会の考えはどうか。	〃	学校内の防犯カメラの設置も現下の新しい教育行政の課題になると認識しているところである。
片岡副委員長	主要な債権の種類と回収率、年度末残高、回収にあたっての課題と、令和6年度を踏まえてこうやっていくということがあれば教えてほしい。	学校給食課長	令和6年度から中学校給食の開始に伴い、給食費は公会計の方式により徴収を開始した。 令和6年度の徴収率は99.61%となっている。 債権の回収としては、督促、催告電話、臨戸訪問、児童手当の振替など、幅広い手法によって、公平性の視点から回収してまいりたいと考えている。
		社会教育課長	留守家庭児童会の保育料について、現年分の未徴収が137,700円で収納率は99.8%、滞納分は2,03,350円で13.8%の収納率となっている。 口座引き落としができなかった方などには、督促状の送付や催告書の発行をしている。 翌年度も引き続き留守家庭児童会の申込みをされる方については、滞納分を払ってからの申込みとしている。今年度は滞納のマニュアルを作成し、基準に基づいて対応したいと考えている。
〃	児童生徒の情報モラルとデジタルシチズンシップ教育の推進とあるが、どれだけの時間数を割いているのか。対象年齢と、今後も継続していくのかを教えてほしい。	こども・学校サポート室総括指導主事	学年や発達に応じて、総合的な学習の時間や学級活動等の中で年間3～5時間程度確保し、SNSの適切な利用や個人情報保護、ネットいじめの防

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	しい。		止、フェイクニュースへの対応など、現代社会に必要なリテラシーの育成に努めている。今後についても、児童生徒が安全かつ簡単健全にICTを活用できる力をはぐくむため、デジタルシチズンシップ教育を継続かつ体系的に推進してまいりたい。
増富委員	眼鏡やコンタクトレンズが必要な児童生徒はどれくらいいるのか。	こども・学校サポート室総括指導主事	学校で視力検査をしており、1.0以下の場合、こどもたちに通知される。その状況を見て、保護者が適切な判断をされる形である。特に悪い場合は、検査をして眼鏡やコンタクトを購入する検討に入ることも考えられると思っている。
〃	子どもの視力について、親の判断任せというのは、考えていかなければならないのではないかと。	教育指導監	学校では健康診断の結果をもとに養護教諭から連絡をしている。学校ではその結果をつかんでいるので、それに対して働きかけをしている。併せてその状況が続くようであれば、担任も含めて家庭と相談しながら、眼鏡やコンタクト等を勧めているところである。
〃	給食センターの施設の説明等の取り組みについて、令和6年度はどの程度行うことができたのか。参加者の声を聞かせてほしい。また、米以外の地産地消の状況はどうか。	学校給食課長	給食センターは児童生徒のみならず、市民の方が食に関する研修をするという目的もあります。令和6年度は市民を対象としたものは2回開催した。その中でも30名を超える人数に試食をしていただくなど、給食センターを見ていただいている。 地産地消について、地元野菜は普賢寺ふれあいの

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			駅に献立を提示し、できる限り調達して購入している。肉と野菜、魚は一般の給食の登録業者に献立を示して、提案型で見本を出していただいて、それがよいのかというところを試食し、価格も含めて一番良いものを確認し、調達している。
//	パーセンテージで比較したいので、後日でもよいので提出して欲しい。	//	地産地消率の令和6年度の実績は小学校で23.2%、中学校で22.5%、合計22.8%である。

(決算特別) 委員会総括審査 審議状況報告書

令和7年10月21日(火)開催分

部局等名(教育部)

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
N E X T 京 田辺 片岡 勉	一体的で切れ目のない子育て支援の具体的な施策とその効果について、定量的な指標を交えた説明を。特に、学童保育のサービス向上について、利用者数の推移や待機児童の状況、保護者からの評価などを踏まえた検証について問う。	教育部長	留守家庭児童会のニーズはここ数年高まりを見せており、今年度当初には78名となっていた待機児童を10月1日現在で24名まで解消したが、引き続き解消に向けて取り組んでいる。一方で、今年度から松井ヶ丘留守家庭児童会を民間委託により運営しているが、延長保育や宅配弁当の他、夏休み期間には、独自のイベントも実施され、児童や保護者から好評を得ているとの報告を受けているので、来年度から開始する4か所の児童会の民間委託による運営を着実に開始できるよう進めている。また、主任会を通して情報共有する中で、市全体の保育サービスを充実できるよう取り組むとともに、安定した人員確保を含めた体制の充実を図りたい。
N E X T 京 田辺 河本 隆志	学校施設包括管理委託に関し、小中学校での効果検証を踏まえ、幼稚園、保育所及びこども園へも展開していくべきではないか。	教育部長	令和6年度から導入した学校施設包括管理業務委託は、巡回点検等の実施や修繕対応の迅速化により、市立小中学校における予防保全型の維持管理と施設の安全性の向上が図られているものと評価している。また、専門業者によるトイレ清掃が毎年実施されるなど教育環境の改善にも寄与しており、学校からも好評な施策となっている。そのた

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			め、現在進めている京田辺市学校施設長寿命化計画の改定にあたっては、予防保全型の効果を最大限生かすことを前提とした検討を進めており、今後は就学前施設への波及についても、こども未来部と情報を共有しながら検討したい。
日本共産党 京田辺市議 会議員団 増富理津子	生理用品の学校トイレへの設置について、教育長の認識は。	教育部長	令和3年度に養護教諭部会と教育委員会で検討したことを踏まえ、コロナ禍での生理の貧困という大きな課題もあり、児童・生徒自身の様子や家庭の状況を把握する観点から、養護教諭を通じた提供とする対応を行ってきたが、昨今の全国的な状況を踏まえると試行的な実施も含め、改めて検討する時期に来ているものと認識している。
公明党 河田 美穂	不登校問題について(アイリスや校内支援センターでのアウトリーチの取組やタブレット活用をどうしているのか。)	教育部長	市教育支援センターでは、これまでからアウトリーチができる体制を整えており、アウトリーチを希望する生徒・保護者との面談で、週当たりの希望回数、時間等を確認した上で対応している。校内教育支援センターでは、教員、スクールカウンセラー等が連携し、児童生徒が安心できる居場所づくりと社会的自立を重視した支援を行っている。支援に当たっては、タブレット端末も活用している。学習支援アプリ等を積極的に活用するほか、学力学習状況調査や学力標準テストの実施に活用し、学習機会の確保に努めている。また、オンラインで会話やファイルの共有ができるツール

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
			を利用したコミュニケーション支援にも取り組んでいる。モデルとして設置した2校の校内教育支援センターでの成果を踏まえ、全市立小中学校に校内教育支援センターを設置する方向で具体的な検討を進めたい。
〃	校内教育支援センターの設置により不登校が減ったと聞いたがどう受け止めているか。	教育指導監	子どもが安心して登校できる環境が確保されたことが大きいと考える。
〃	全校で実施していただけないか。	〃	現在の2校も含めて人員を配置については京都府教育委員会に要望している。併せて、市としての取組も検討したい。